

…多摩ニュータウンで古代に出会える道…

日時:2016年6月15日(水) 天候:終日小雨 20000歩 約13km

集合:小田急相模原線永山駅改札前 9時30分

コース:永山駅→諏訪第二公園→ふれあいの道→電車見橋→多摩東公園→よこやまの道→展望広場→一本杉公園→
豊ヶ丘スクールロード→吉祥院→東京都埋蔵文化財センター→多摩中央公園・パルテノン多摩→多摩センター駅

参加者:小島(L) 熊島(SL) 班長=栗田 中村ゆ 賀上

佐藤伊 勅使河原 平嶋 神谷 戸田 森山 仲 奴田 高橋文 伊藤真 小野里 青松秀 菊池 内田絵 佐藤繁
内田成 藤原 斉藤優 中村年 森川 井内 福士 山川 市村 清水靖 桑原 平林勝 大島 武倉 青松美 奥村
中林 計37名

♪雨々ふれふれもっとふれ〜♪ 歌に唄うのは良いが、こう降られるとねえ…今日は最後まで雨に祟られた一日でした。予報では日中は曇り空のはずだったのですが、先の平塚での例会の雨をどなたかが引きずって来てしまったようです！この日歩く多摩ニュータウンは、稲城市・多摩市・八王子市・町田市に跨る多摩丘陵に計画された日本最大規模のニュータウンです。昭和41年に事業が決定し、昭和46年に諏訪・永山地区の第一次入居が始まりました。ただこの時点では交通インフラの整備が出来ておらず、通勤・通学では京王線の聖蹟桜ヶ丘駅まで、バスやタクシーを利用するしかありませんでしたが、昭和49年になって小田急・京王両線が開通し住民の足が確保されました。域内は人道と車道が立体的に分離し、駅から各団地まで車道を通らずに行くことができ、また緑あふれるプロムナードが延びて快適な住環境が確保されています。南側の尾根部分には「よこやまの道」が通り、古代の旅人の苦勞に思いを馳せることが出来ました。 <フォトレポート 小島>



朝の小田急永山駅。皆さん早めの集合でした。



駅から続く複合商業施設「グリナード永山」。



ここからは諏訪団地内のプロムナードを歩きます。



諏訪第二公園で佐藤伊さんのストレッチ。濡れた〜！



コース説明が終わり、雨仕度を整えて出発！



ここから「ふれあいの道」に入ります。



予報では、もう止んでいいはずですが・・・



「電車見橋」から。左は小田急、右が京王線です。



この先暫くトイレがないので多摩東公園でトイレ休憩。



束の間でも話に花が咲くようで・・・



何とも微妙なショットで済みません！



その名も「弓の橋」。渡ってみましょう。



橋の上はこんな感じで・・・まあ普通の橋です。



ここから「よこやまの道」が始まります。



画面右側は川崎市との境界ですが雨に霞んでいます。



明るくなってきたが雨止まず。



展望広場も下界は霞んでいます。



肝心の全景写真を撮るのを忘れました！



でも皆さんの視線は景色を捉えています。



景色は霞んでも雨に濡れた緑が綺麗です。



下り坂の車道区間。車の往来は殆どありません。



よこやまの道の案内板。分かりにくい区間です。



お墓を見下ろしながら・・・やはり気になるようで。



妙桜寺の墓地でした。買う？



恵泉女学園大前に出ました。



もうすぐ一本杉公園です。



到着！ここが昼食場所になります。



ランチタイム。唯一の東屋は先着順！でも“女性優先”と言ったはずですが・・・



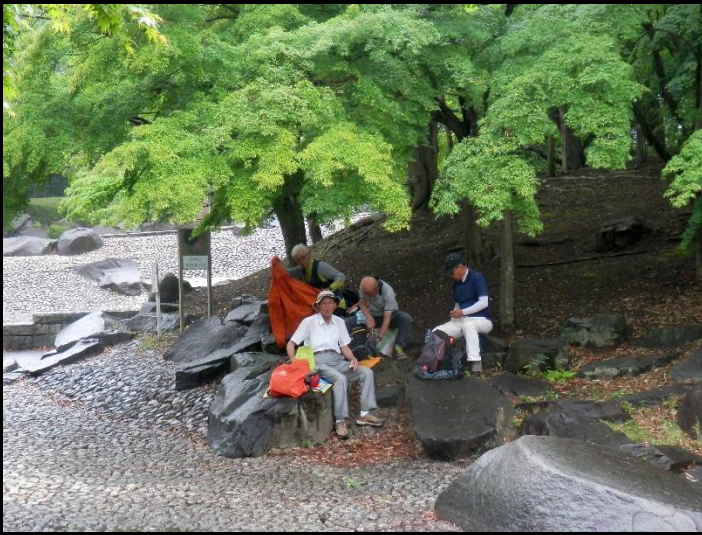
こんな人道トンネル内でのランチも粋なものかも？ 雨男のせいで申し訳ありませんでした！



女性陣は何処でも楽しんでしまう特技をお持ちで！



さすが重鎮はここでも画になります！



緑の下の特等席ですが滴が落ちてきます！



こちらは夫婦水入らずで・・・でも雨で水入りかも？



園内は雨に濡れた木々の緑が目にはみえます。



2棟の古民家がありますが、皆さん見飽きていますね！



トイレ前で人員点呼。身仕度はOK？



一本杉公園を出て午後の部スタートです。



南野スカイブリッジを渡り、豊ヶ丘団地に入りました。



この「豊ヶ丘スクールロード」は、車道を通らずに通学できる安全な人専用道路です。



豊ヶ丘北公園でトイレ休憩。



ここは開発当初からの公園で、小山の中腹になります。



車道に下りて来ましたが、このポーズは何？



小田急多摩線に沿って歩きます。



東京都埋蔵文化財センター。



屋外には「縄文の村」があります。



この地域で発掘された復元家屋も。



こちらは現代に蘇った縄文人？ いえ、昭和の女性代表です！（表現に微かな箇所がありました！）



館内には出土品の数々が。



縄文ファッション？



縄文時代の火おこし体験中！

[東京都埋蔵文化財センター]現在の場所に建物が作られたのは昭和60年で、多摩ニュータウン No.57 遺跡の西側部分を発掘調査して建設されています。この建物の当初の目的は、多摩ニュータウン内で見つかった土器や石器類の出土遺物を収蔵することでしたが、一部に附属施設として「展示ホール」を併設。隣接する屋外には遺跡庭園「縄文の村」があります。



センターから歩行デッキに出ます。



多摩センターの象徴、サンリオピューロランド。



最後の多摩中央公園に到着したもの・・・



カルガモ親子に気を取られてクールダウンを忘れた～！



ギリシャで集合写真？ ここはその名も「パルテノン多摩」の大階段です。（最近日も悪いせいか、左側が切れました）



“神殿”を後にパルテノン大通りを歩き駅へ・・・商業施設が集中する中心エリアです。

※写真からはそう見えませんが、雨の止み間が殆どなく傘が手放せない一日となりました。永山駅をスタートしてよこやまの道を挟み多摩センター駅まで、多摩ニュータウンの中心をなす諏訪団地と永山団地、そして最後は豊ヶ丘団地内のプロムナードを歩いてみました。ニュータウンも時代と共に近代的な住宅が立ち並び、高齢者の街から若い人たちの住む街へと変貌を遂げつつあります。この丘陵一帯は古代旧石器時代から縄文中後期まで、当時の人々にとっても快適な住環境の村だったようです。この先10年、そして50年後には果たしてどのような街になっていくのか、地下に眠る縄文人たちも見守っていることでしょう。遠路はるばる多摩丘陵までお越しの皆さん、そしてSL&班長の皆さんも今日はお疲れ様でした！

なおアフターは多摩センター駅前のサイゼリヤにて。久々19名の参加で4テーブルに分かれ、終始笑いの絶えない(笑いすぎ?)時間を過ごしました。

END